

「英語Ⅱ」学習指導案

岐阜県立東濃実業高等学校
教諭 亀谷 みゆき

1 日 時

平成24年2月6日(月) 第4限(11:55~12:45)

2 学 級

生活文化科 第3学年6組 (39名)

3 学 級 観

家庭科を専攻している女子生徒39名のクラスである。何事にも明るく、前向きな姿勢で取り組むことができる。生徒間に習熟度合いの差はあるが、ペア・ワークやグループ・ワークにおいて、協力して共に学ぶ姿勢が身に付いている。

4 教 材

教科書 NEW STREAM English Course II (ZOSHINDO)
Lesson 10 The Fight for Rights

5 単元の目標

黒人の差別撤廃のために多大な貢献を果たしたローザ・パークスやキング牧師の行動や人権に対する考え方を扱った本文を応用して、読み取った内容に対する自分自身の考えを、学習した語句や表現を積極的に活用しながら相手に伝えることができるようになる。

6 指 導 計 画

指導内容	配当時間
教科書中の写真や地図、教師のオーラル・イントロダクション等を利用して、単元の内容について背景知識を高めるとともに、本文全体を速読したりCDを聞いたりして概要を捉える。	1時間
黒人の差別撤廃を求めたローザ・パークスやキング牧師の行動と彼らの心情、また、ローザ・パークスが若者へ伝えようとしたメッセージを理解する。	4時間 (本時2時間目)
ローザ・パークスの生き方について自分の考えをまとめ、グループ内でスピーチをする。	2時間

7 本時の目標及び評価規準

(1) 目標

ア ペア・ワークやグループ・ワークに積極的に参加し、相手の考えなどを聞いたり自分の考えなどを主体的に話したりする。

イ 聞いたり読んだりした内容について、その概要や自分の考えを相手に伝える。

ウ 登場人物の言動やその言動の理由などを捉えることを通じ、本文の概要や要点を理解する。

エ 聞いたり読んだりした内容について、賛否や簡単な感想を述べるための表現を理解する。

(2) 評価規準

①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	②外国語表現の能力	③外国語理解の能力	④言語や文化についての知識・理解
----------------------	-----------	-----------	------------------

ペア・ワークやグループ・ワークに積極的に参加し、相手の考えなどを聞いたり自分の考えなどを主体的に話したりしている。	聞いたり読んだりした内容について、その概要や自分の考えを相手に伝えることができている。	登場人物の言動やその言動の理由などを捉えることを通じ、本文の概要や要点を理解することができる。	聞いたり読んだりした内容について、賛否や簡単な感想を述べるための表現を理解している。
---	---	---	--

8 本時の展開

時間	指導過程	生徒の学習活動	教師の活動 及び 指導上の留意点	主な 評価の観点	評価 方法
5分	1. Small Talk －春休みの計画（ペア・ワーク）	<ul style="list-style-type: none"> 自分の春休みの計画をペアで1分間伝え合う。 代表生徒がクラス全体に発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> Conversation Strategies を使っているだけで対話が続くよう促し、必要に応じて支援する。 数名の生徒を指名し、クラス全体で共有する。 	聞いたことについて簡単な言葉で反応したり、間違えることを恐れず話したりしているか。 (①)	活動の観察
5分	2. Reading I －ポイントを絞った本文の速読と場面の把握	<ul style="list-style-type: none"> Who / When / Where にポイントを絞って本文を読み、場面を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた点についてのみ拾い読みをするよう指導する。 	読み取った情報をメモし、関心を持って読んでいるか。 (①, ③)	活動の観察及びワークシート
10分	3. Reading II －登場人物の言動やその理由を捉え、概要や要点を把握 －手話を使った英文内容の表現	<ul style="list-style-type: none"> 本文をもう一度読みながら、パラフレーズされた英文の空所補充をすることによって、本文の内容を理解する。 本文の内容理解に関する教師の発問に答える。 本文の中で登場人物の気持ちを最もよく表している英文を選び、その英文の内容を手話で表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ビジュアル・エイドを用いて本文の内容理解を助ける。 各生徒のつまづきに応じて支援する。 本文の内容理解を促すような発問をする。 手話で英文を表現することで、登場人物の気持ちをより深く理解させる。 	理解できないことや未知の語句があっても、推測するなどして読み続けているか。 (①) 教師の質問に適切に答えているか。 (③) 英文の意味を積極的に手話で表現しているか。 (①)	活動の観察及びワークシート 筆記テスト(後日) 活動の観察
8分	4. Reading III － Listening to the Text (強調する語句や意味のまとまりの確認)	<ul style="list-style-type: none"> 意味のまとまり（チャンク）、強く発音される語（句）、音の連結などに注意して、記号を付けながらCDを聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語の音声的な特徴に注意させる。 	英語の音声的な特徴を捉えて音読しているか。 (②)	活動の観察

	<p>－音読（Repeating, Buzz reading, Pair Reading）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意味内容が聞き手に伝わるように音読する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意味内容が相手に伝わるよう、強調すべき語（句）や話す速度・声の大きさなどに注意するよう指導する。 	<p>意味内容が聞き手に伝わるよう音読しているか。 （②）</p>	活動の観察
17分	<p>5. Discussion －“If you were Rosa Parks, what would you do on the bus?”</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられた問いについて、ハンドアウトを使ってブレインストーミングする。 ・自分の考えとその理由をグループで話し合う。4人1グループになり、司会者役の生徒が、他の生徒の考えを要約しながら話し合いを進める。また、グループや役割を変えて、複数回行う。 ・自分の考えを話す際は、本単元で学習した以下の文法事項や表現などを積極的に活用する。 ○過去完了形 ○仮定法 ○助動詞＋受け身 ○make a difference ○help oneself ○be concerned about 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容に即して自分の考えとその理由が伝えられるよう指導する。 ・Conversation Strategies を積極的に使って、話し合いが活発になるよう指導する。 ・相手に自分の考えが伝わるよう、話す速度や声の大きさ、強調などに注意して話すよう指導する。 ・本単元で学習した文法事項や表現などを積極的に活用しながら話すよう、適宜例示しながら指導する。 ・各グループを回り、必要に応じて支援する。 	<p>自分の考えを積極的に相手に伝えているか。 （①）</p> <p>相手の発話に対して適切に応答しているか。 （②, ④）</p> <p>学習した文法事項や表現などについての知識を適切に活用して話しているか。 （②）</p>	<p>活動の観察</p> <p>活動の観察</p> <p>インタビューテスト（後日）</p>
3分	<p>6. Report －ディスカッションで出した考えをクラス全体で共有</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスカッションで出した自分の考えをクラス全体に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数人の生徒に発表させると共に、出された考えについてクラス全体にフィードバックする。 	<p>自分の考えを積極的に話しているか。 （①, ②, ④）</p>	活動の観察
2分	<p>7. Wrap-up －課題の指示と生徒へのフィードバック</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・なるべく肯定的なコメントをすることで、motivational feedback を与えるようにする。 		